

動脈硬化の非侵襲的診断に関する研究

所属機関 東京慈恵会医科大学
研究者名 岡村 哲夫

2001（平成13）年度以前の助成研究者については、研究報告書全文に関する公開の許諾について明確になっていなかったため、助成研究者の皆様に対し、大学等への配布及び当財団ウェブサイトでの公開について許諾をお願い致しましたが、許諾が得られなかったため、当財団が助成対象とした研究の目的（または一部概要）のみ下記に記載し、研究報告書については非公開とさせていただきます。

（研究の目的）

動脈硬化症は心・血管系の致死的障害の主原因であり、高齢化社会を迎え一層その対策が急務である。本研究は動脈硬化症の非侵襲的定量診断法の確立を目指したもので、その確立は心・血管系疾患の予防ならびに治療に極めて重要な意義を持つ。動脈硬化病変は血管部位によりそれぞれ特徴を持つことから、本研究では部位別に検討した。